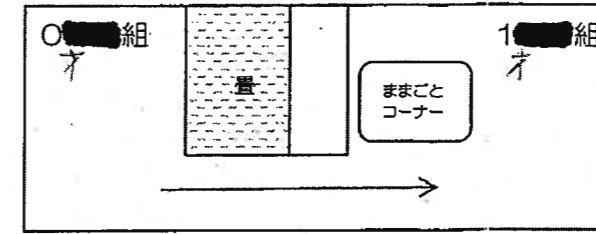


保育エピソード	0歳児 []	記録者 []
5月23日	「どれ食べようかな？」	
教育・保育課程（一部抜粋）		
5月	○身近な環境に親しみ、見たり触れたりすることで、表現を豊かにする。	
第4週	○身近な環境に興味をもち、探索を楽しむ。 ・保育教諭と一緒に探索活動を楽しみ、身近な人や自然物に親しむ。	
[]（1歳0ヶ月）		
<p>壁や玩具を伝って歩き、[]組のままごとコーナーへ遊びに行く。1歳児が机の上にお皿や食べ物を並べていることに気が付くと、机につかまり立ちして近くにある物を手に取って舐めて確かめたり、持っては投げたりを繰り返していた。様々な物に触れてみる中で包丁やフォークが気に入ったようで、カゴに手を伸ばして自分で取り出し、片手に握ったまま遊び始めた。そこで、読み聞かせて見て親しんでいるお弁当の絵本を手渡してみた。お弁当の写真をじっと見つめた後、写真にフォークを近付け、パクッとフォークを口にくわえたので、保育教諭が「お弁当まんまましたの。おいしいね」と言葉をかけると保育教諭の方を見てニコッと笑った。</p>		
<p><活動を振り返って> 伝い歩きや一人で歩ける距離が長くなってきたことで行動範囲が広がり、[]組の保育室から移動し、[]組や職員室、廊下を探索することを楽しんでいる。[]組に入ると1歳児が遊んでいる様子が気になる様子で、じっと見ていた。その後、1歳児と同じように椅子を引き出して座ろうとしたり、一緒にボールを転がしたりと見て真似る姿が見られた。楽しそうな雰囲気を感じ、やってみようとする気持ちが芽生えてきている。一緒に遊ぶ中でままごと遊びの食べ物や色水ジュースなどにも興味をもつようになり、手に取り舐めて舌の感触で確かめたり、握っては落としたりすることを繰り返していた。ままごとの食べ物よりも、実際のお弁当の写真が載っている絵本の方がイメージしやすいのではないかと考え、絵本を手渡してみた。すると写真をじっと見つめ、お弁当にフォークを突き刺す仕草をした後、そのままパクッとフォークを口にくわえ食べる動作をしたので、本児の行動を言葉にして伝え、楽しさに共感した。本児のニコッと笑った表情から保育教諭に思いが伝わった嬉しさを感じることができた。これからも安心できる環境の中でしっかりと探索できるようにし、「これはなんだろう」「触ってみよう」と新しいものへと興味を広げ、好奇心の芽生えに繋がるよう、応答的な関わりを続けていく。</p>		

【環境構成】



クラスカンファレンス

- <感じる・気付く力> ・1歳児組の様子をよく見て、楽しそうな雰囲気を感じ、真似してみようとする。
- <うごく力> ・興味がある場所へ歩いて行こうとする。
- <人とかかわる力> ・お弁当を食べる真似をした楽しさを保育教諭と共有し、笑顔で応える。

園内カンファレンス

感じる・気付く力

- ・いろいろな物に触れ、形や感触を確かめながら気に入った物を探している。
- ・絵本の写真が食べ物の写真だと気付く。
- ・1歳児組の遊びに興味をもち、遊びたい気持ちになる。

やりぬく力

- ・安心できる環境の下、探索活動を繰り返し楽しむ。

うごく力

- ・自分で気に入った物を取り出す。
- ・お弁当の写真を見ることで「食べてみたい」と思って、心が動いている。
- ・お弁当の写真から“食べる”ことをイメージし、フォークを口にくわえ、食べる動作をしている。
- ・フォークを握り、本児が食べたいと思う食べ物をさし、食べる真似をする。

人とかかわる力

- ・保育教諭の言葉がけに表情で応え、気持ちを受け止めてもらう心地よさを味わっている。
- ・自分の行動を保育教諭に言葉にしてもらい、思いを共感してもらった嬉しさを表情で伝えている。
- ・保育教諭と親しみのある絵本を通して思いを通わせる喜びを味わっている。
- ・いつも側にいる安心できる存在の保育教諭の言葉がけにより、笑いかけている。
- ・真似っこで表現したことを保育教諭に伝えようとし、共感してもらったことに喜びを感じている。

考える力

- ・舐めたり投げたりして自分で確かめようとしている。
- ・玩具のフォークと食事で使うフォークが一致している。

今後に向けて（環境構成・援助）

- ・意欲的に探索するようになってきているので、異年齢児の保育室に遊びに行く機会を作ったり、遊戯室や支援室など広い空間でしっかりと体を動かしたりできるようにする。
- ・子どもの目線や仕草から興味がある物を見取り、感じていることに共感したり行動を言葉にしたりしながら、興味を広げていく。